

みんなのひろば

ピテーゼを製作することも変わりはありません。

自分の持っている知識や経験をいかにそのケースに注ぎ込むか。私は歯科技工士としてのスキル・手技があつたか

歯科技工業界がますます発展するために先輩技工士の皆さんに負けないよう常に向上心や探求心を持ち続けたいと思います。日々の努力や経験

を積み重ね、決して自己満足でなく患者さんに喜んでもらえる補填修復物を作れる歯科技工士でありたいと考えています。

今後の展望などよく聞かれことがあります。漠然とした考えは頭の中にある「時間」をかけば何とかなる、自分でなくとも誰かがやるので「」などと思つていました。ですが先日学術発表をした際にとても多くの歯科技工士の先輩方から称賛を受け、たくさんの激励やアドバイスの言葉をいただきました。頭の中でモヤモヤしていたものがぱッと晴れたような、先是長いけれど今後のビジョンというものが明確になりつつあるよう気がします。

未来予想図として描いているのが、エピテーゼ製作における技術者を育成し、歯科技工士や義肢装具士でなくても製作に携わる技術者たちをサポートしバックアップできる業界作りです。エピテーゼはその種類によって医療用具ではなく雑貨という位置づけのものもあります。心身の医療用ケア用具のような存在になると腫瘍や先天性の欠損においても各自治体や保険のサポートなどを受けて利用できるようになれば、さらには労災だけでなく腫瘍や先天性の欠損においても各自治体や保険のサポートになります。

【略歴】歯科技工士の傍らエピテーゼの技術を学び、2011年に萩原歯研・エピテーゼ製作室メイカルラボKを開設。製作技術者の育成にも取り組む。高崎市出身。

オピニオン21

ホームページでも見られます。
アドレスは <http://www.jomo-news.co.jp/>

視

卷之三

らこそ日々のエピテ
レゼの臨床ケースに
対応できたのだと思
います。しかし、ま
だこれからたくさん
の知識を得て経験を積まなけ
ればならないことは当然で